

会 報

昭和52年度日本醸酵工学会大会

昭和52年度の本学会大会は、11月10日から12日までの3日間、日本生命中之島研修所（大阪市北区常安町29）において開催された。会場は第1会場（講堂）、第2会場（特別教室）、第3会場（第2教室）、第4会場（第1教室）および第5会場（C教室）の5会場にわかれて247題の発表が行なわれた。すなわち醸造Ⅰ～Ⅲ、酵素工学、非炭水化物、酵素、生物化学工学Ⅰ～Ⅱ、発酵生理、廃液処理、微生物、殺菌の一般講演と酵素工学、二次代謝産物、廃液処理、植物繊維資源、酒造用原料米とその処理、SCP とくに C_1 微生物および生化学工業などにおける副産物の利用の各シンポジウムならびに石油醸酵研究会との石油醸酵講演会、「環境科学」環境改善技術の微生物生態学検討班との環境改善技術の微生物生態学、「環境科学」生物的環境改善技術領域班との生物的環境改善技術、日本微生物株保存連盟との微生物の化学分類およびアミノ酸核酸集談会とのアミノ酸核酸の各シンポジウムを共催で行ない熱心な討論が行なわれた。

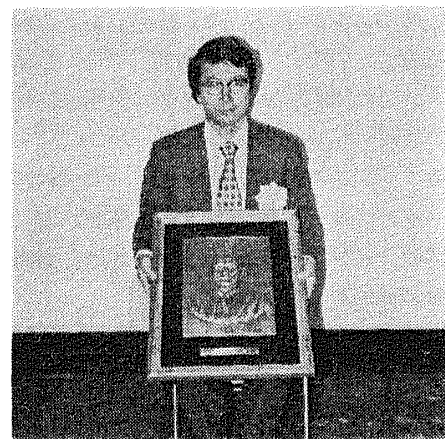
大会第2日目は、授賞式および受賞講演が行なわれた。まず、福井新会長の新任のあいさつの後、山田授賞選考委員および山本授賞選考委員より斎藤賞授賞者の河合弘康氏および関口順一氏についておよび能美授賞選考委員より学会賞受賞者の山根恒夫氏についてそれぞれ選考経過および業績について報告があり、福井会長および妹尾副会長から受賞者にそれぞれ賞牌、副賞

（金一封）が贈呈された。

なお、同日午後5時30分から同研修所において170余名参加の懇親会が盛大に催された。



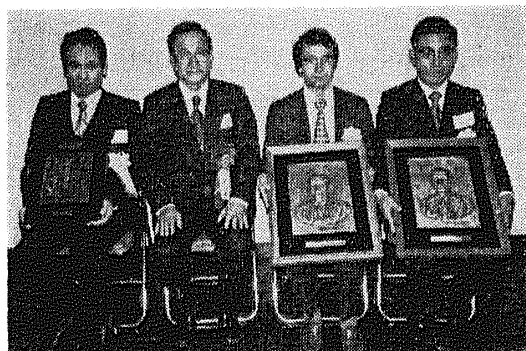
斎藤賞 河合 弘康氏



斎藤賞 関口 順一氏



学会賞 山根 恒夫氏



昭和52年度 編集委員会 議事録

- 1 日 時 昭和52年11月10日(木) 12時～13時
- 2 場 所 日本生命中之島研修所(大阪市北区常安町29)
- 3 出席者 原田篤也氏 他15名
委任状 8名 (総員25名)

報 告：大嶋理事から本年度上半期の原稿受付状況，月別受付原稿数と掲載状況および投稿数と掲載数について報告があり承認された。

4 議事の経過および結果

第1号議事 醸酵工学会誌およびJ.F.T.の表紙デザインの改訂とJ.F.T.の2段組について

大嶋理事は，5年目ごとに変更している会誌の表紙デザインについて，新年度からワインカラーを基調にしたものに改訂したいとのべ，一同はそれを承認した。

続いてJ.F.T.の2段組の可否について検討した結果，若干の値上がりについては，投稿料および

別刷料金を改訂して補うことで2段組にすることを決定した。

第2号議事 その他

照井前会長の退任記念事業の一環として，記念出版物を刊行することについて，会長は募金の多寡によるが，醸酵工学会誌およびJ.F.T.をそれぞれ特集号として刊行すること，そのために記念出版小委員会を設けて，編集方針を決めたいとのべ，検討した結果，全員異議なくこれを承認した。

昭和52年度 第3回理事会 議事録

- 1 日 時 昭和52年11月10日(木) 午後5時30分～7時30分
- 2 場 所 レストランパレス会議室(大阪市北区梅田8番地)
- 3 出席者 福井 三郎，千畑 一郎，磯野 正雄，永井 史郎，岡田 弘輔，大嶋 泰治，清水 祥一，高原 義昌，高野 光男，高尾 彰一，枋倉辰六郎，戸田 清，豊沢 誠，上田 清基，山本 武彦

(陪席者) 栗山 一秀(監事)

上田 隆蔵，菅 健一(幹事)

欠席者 妹尾 四郎，田口 久治，養田 泰治，野白喜久雄，上田誠之助

4 議事の経過および結果

第1号議事 会務報告

次の事項について担当理事から報告があり承認された。

イ 庶務関係 枋倉理事は，資料p1～2にもとずいて本年度上半期の事業，会議開催状況および会員異動状況について報告した。

ロ 編集関係 大嶋理事は資料p4にもとずいて，原稿受付状況，月別受付原稿数と掲載状況および投稿数と掲載数について報告した。

ハ 会計関係 高野理事は資料p3にもとずいて，上半期の収入，支出および本年度の決算予想について報告した。

ニ 支部関係 上田支部長は本年度上半期の事業および会議開催状況について報告した。

第2号議事 照井前会長の退任記念事業について

福井会長は，過日開催された常任理事会および記念事業計画準備委員会で作成された，趣意書，計画の概要および募金要領の原案について説明し，一同に諮ったところ，募金目標額の600万円を700万円に改め，照井賞基金および賞牌製作費として500万円，記念出版費に200万円計上すること，および募金申込先を賛助会員，役員および評議員とする原案に対し，新たに会員全員に記念事業内容を知らせ，募金申込書を添付することを決めた。また，準備委員として次の20名を原案通り選出した。なお，近く第1回準備委員会を開催して，発起人，寄付依頼先等について検討することになった。

(準備委員) 福井 三郎，千畑 一郎，磯野 正雄

蔭山 公雄, 黒岩 芳朗, 尾崎浅一郎
 茂木 正利, 蓑田 泰治, 野白喜久雄
 岡田 弘輔, 大嶋 泰治, 鮫島 広年
 妹尾 四郎, 芝崎 勲, 田口 久治
 高橋 雅弘, 高原 義昌, 高野 光男
 上田 清基, 上田誠之助

第3号議事 醸酵工学会誌およびJ.F.T.の表紙デザインの改訂およびJ.F.T.の2段組について

大嶋理事は、5年目ごとに変更している会誌の表紙デザインについて、新年度からワインカラーを基調にしたものに改訂したいとのべ、一同検討したところ、編集理事に一任することを決めた。

続いて、J.F.T.の2段組の可否について検討した結果、若干の値上がりについては、投稿料および別刷料金を改訂して補うことで2段組にすることを決定した。

第4号議事 新入会員の承認について

正会員62名、学生会員23名、団体会員3社および賛助会員2社の入会申請について検討した結果、全員の入会を承認した。

第5号議事 その他

賛助会員の勧誘について：本会の活動と密接な関係にあつて、未だ賛助会員に入会されていない会社に対して、全員が勧誘状を送付して賛助会員の口数を増すことを申合わせた。

昭和52年度 第2回評議員会 議事録

- 1 日 時 昭和52年11月11日(金) 12時～13時
- 2 場 所 日本生命中之島研修所(大阪市北区常安町29)
- 3 出席者 赤木盛郎氏 他34名

委任状 17名 (総数60名)

(陪席者) 福井 三郎, 妹尾 四郎, 大嶋 泰治, 高野 光男, 枋倉辰六郎, 芝崎 勲(監事)
 定款第26条の規定にもとづき、辰巳忠次氏を議長に選出し、定足数を確認の上議事に入る。

4 議事の経過および結果

第1号議事 会務報告

次の事項について担当理事から報告があり承認された。

イ 庶務関係 枋倉理事は、資料 p 1～2 にもとづいて本年度上半期の事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。

ロ 編集関係 大嶋理事は、資料 p 4 にもとづいて原稿受付状況、月別受付原稿数と掲載状況および投稿数と掲載数について報告した。

また、醸酵工学会誌およびJ.F.T.の表紙デザインの変更およびJ.F.T.の2段組について新年度から実施することを報告した。

ハ 会計関係 高野理事は、資料 p 3 にもとづいて上半期の収入、支出および本年度の決算予想に

ついて報告した。

第2号議事 照井前会長の退任記念事業計画について

議長から第2号議事の説明を求められた会長は、記念事業の趣意書、計画の概要および募金要領の原案について説明した。議長は、会長の説明にもとづいて、記念事業の可否について諮ったところ、全員異議なく賛成したので、これを行なうことを決めた。また、準備委員として20名を原案通り選出し、近く第1回の会合を開くことを決めた。

第3号議事 その他

賛助会員の勧誘について：会長は、本会の活動と経理内容に鑑み、本会の活動と密接な関係にあつて未だ賛助会員に入会されていない会社に対して、勧誘して下さるよう要請した。